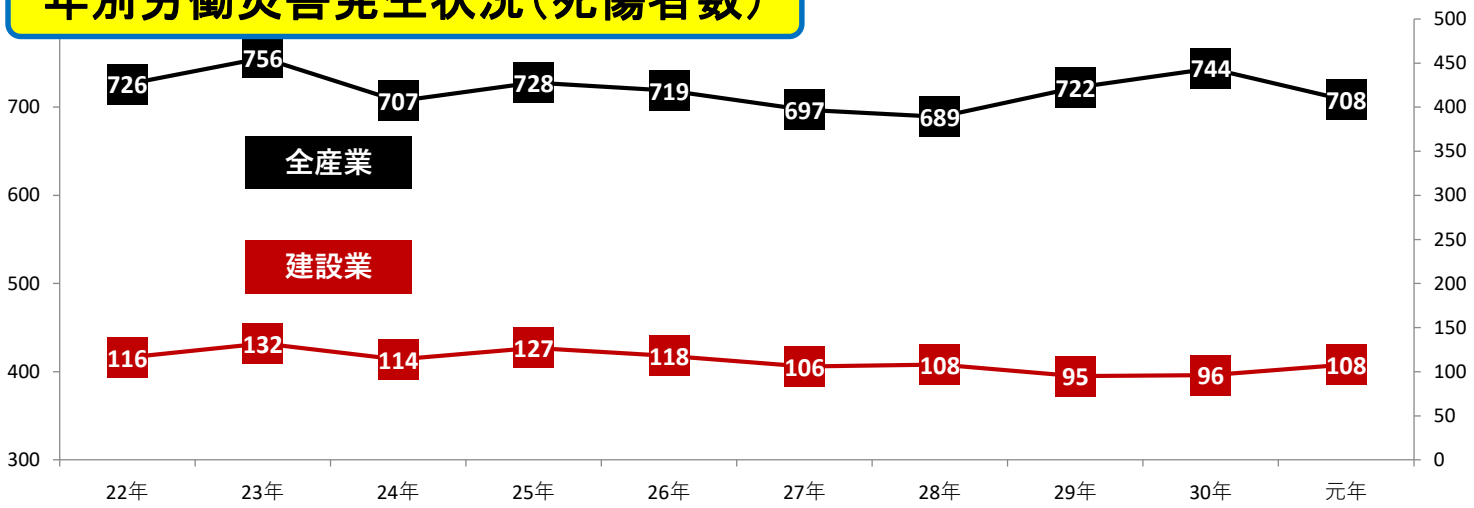
令和元年

島根の建設業の労働災害

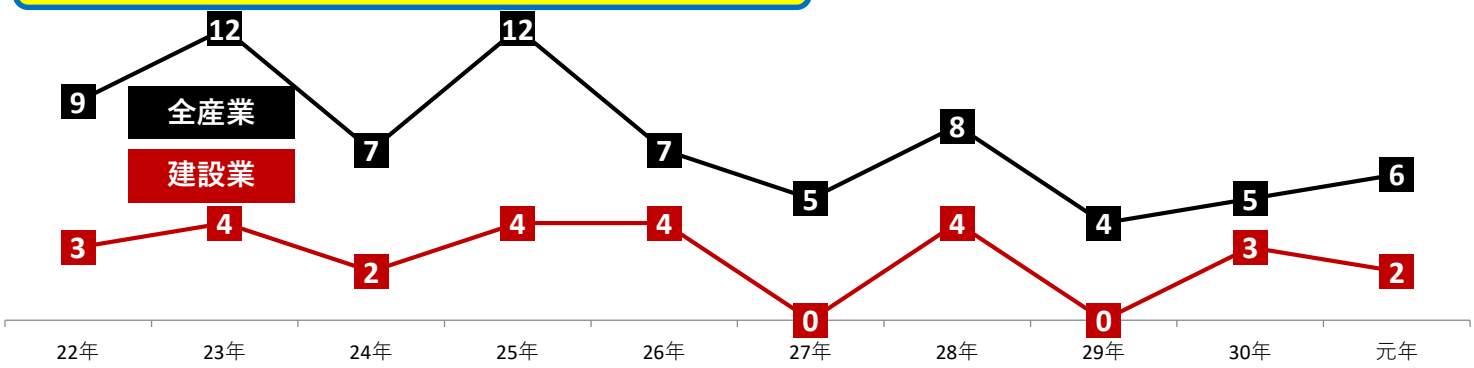
2019年に島根県内の建設業において発生した休業４日以上の労働災害による死傷者数は108人で、前年と比較して12人（12.5%）増加しました。特に土木工事業、木造家屋建築工事業等で増加しました。
死亡者数は2人となり、前年より1人減少しました。

厚生労働省　島根労働局

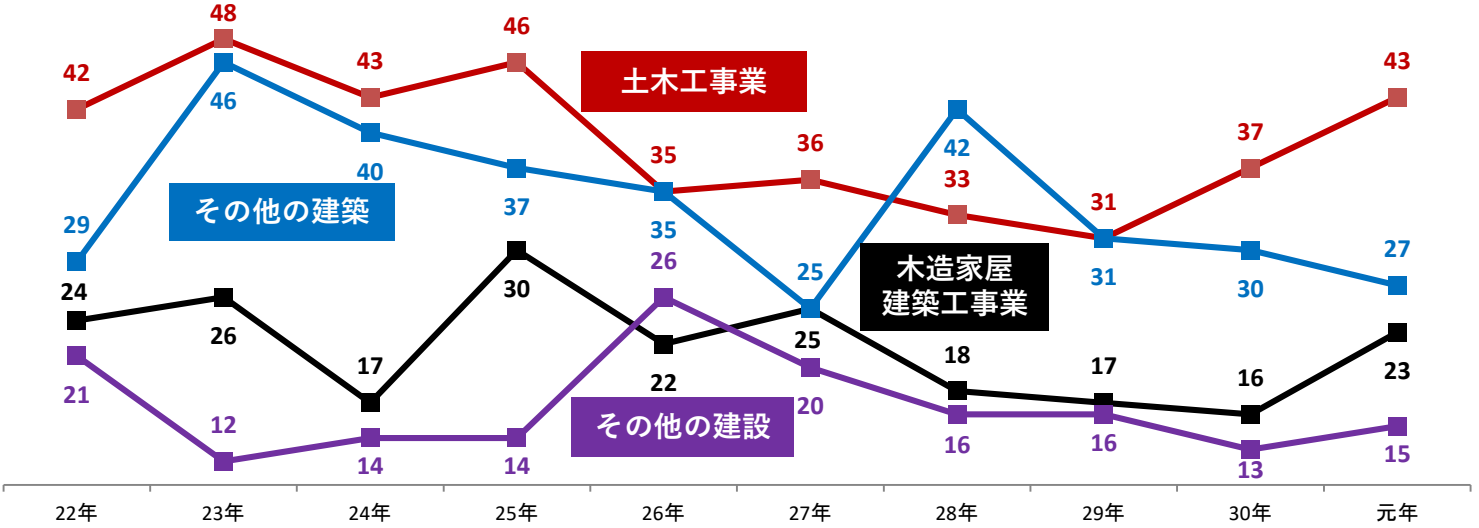
年別労働災害発生状況（死傷者数）



年別労働災害発生状況（死亡者数）



年別労働災害発生状況（業種別）



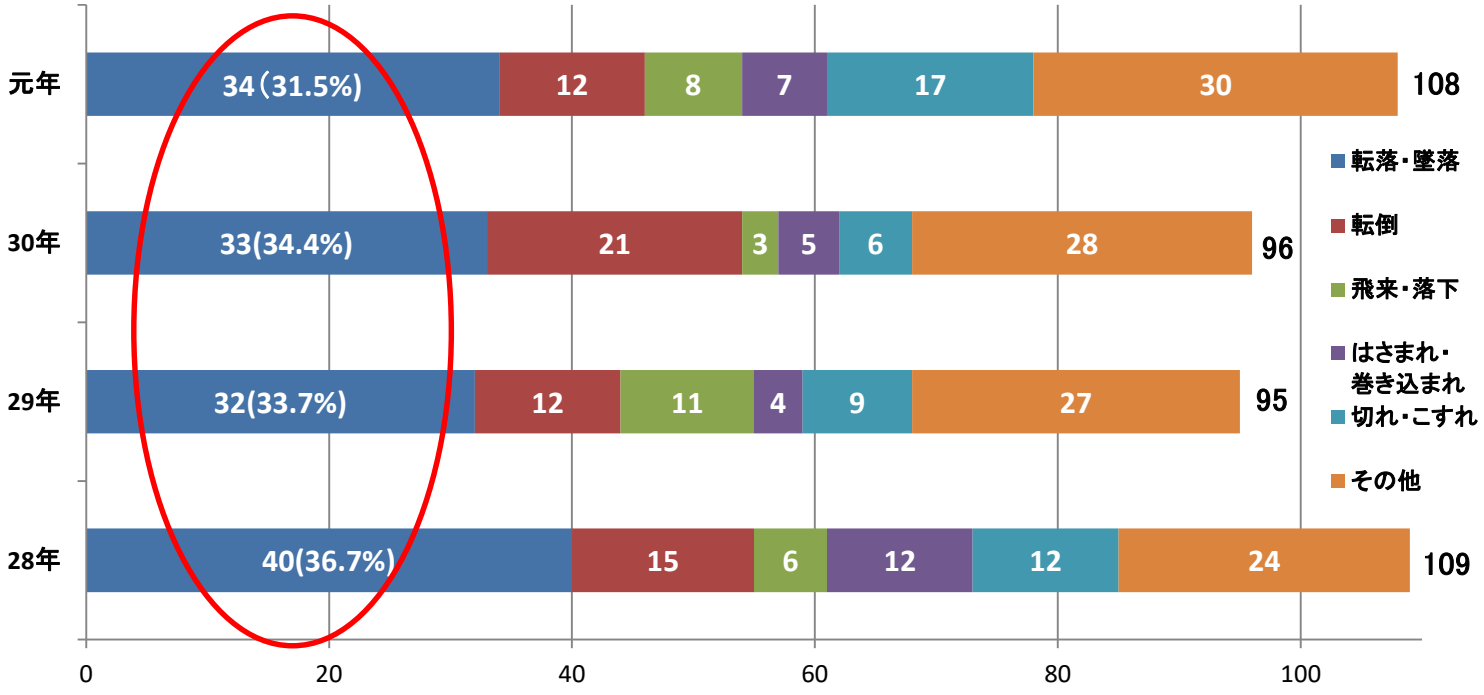
建設業と主な業種の労働災害発生状況

業種	全署計 30年 死亡	全署計 30年 死傷者	全署計 元年 死亡	全署計 元年 死傷者	全署計 増減数	全署計 増減率(%)	松江署 30年 死亡	松江署 30年 死傷者	松江署 元年 死亡	松江署 元年 死傷者	松江署 増減数	隠岐 30年 死亡	隠岐 30年 死傷者	隠岐 元年 死亡	隠岐 元年 死傷者	隠岐 増減数	出雲署 30年 死亡	出雲署 30年 死傷者	出雲署 元年 死亡	出雲署 元年 死傷者	出雲署 増減数	浜田署 30年 死亡	浜田署 30年 死傷者	浜田署 元年 死亡	浜田署 元年 死傷者	浜田署 増減数	益田署 30年 死亡	益田署 30年 死傷者	益田署 元年 死亡	益田署 元年 死傷者	益田署 増減数
全産業計(除鉱山法適用)	5	744	6	708	▲ 36	▲ 4.8	3	314	0	281	▲ 33	0	20	0	22	2	0	231	1	256	25	1	118	3	105	▲ 13	1	81	2	66	▲ 15
建設業 土木	1	37	1	43	6	16.2	1	17		9	▲ 8		5		1	▲ 4		13		15	2		6	1	11	5		1		8	7
建設業 木造建築	0	16	0	23	7	43.8		4		5	1		2		1	▲ 1		7		8	1		3		6	3		2		4	2
建設業 その他の建築	2	30	1	27	▲ 3	▲ 10.0		8		12	4		1		1	0		8		12	4	1	9	1	3	▲ 6	1	5			▲ 5
建設業 その他	0	13	0	15	2	15.4		5		7	2				1	1		5		6	1		2		2	0		1			▲ 1
建設業 小計	3	96	2	108	12	12.5	1	34		33	▲ 1	0	8	0	4	▲ 4	0	33	0	41	8	1	20	2	22	2	1	9	0	12	3
製造業	1	183	0	134	▲ 49	▲ 26.8	1	69	0	45	▲ 24	0	1	0	2	1	0	60	0	51	▲ 9	0	35	0	25	▲ 10	0	19	0	13	▲ 6
林業	0	23	1	37	14	60.9	0	6	0	13	7	0	1	0	3	2	0	11	0	5	▲ 6	0	2	0	9	7	0	4	1	10	6

注:休業4日以上、隠岐は松江署の内数。

事故の型別発生状況

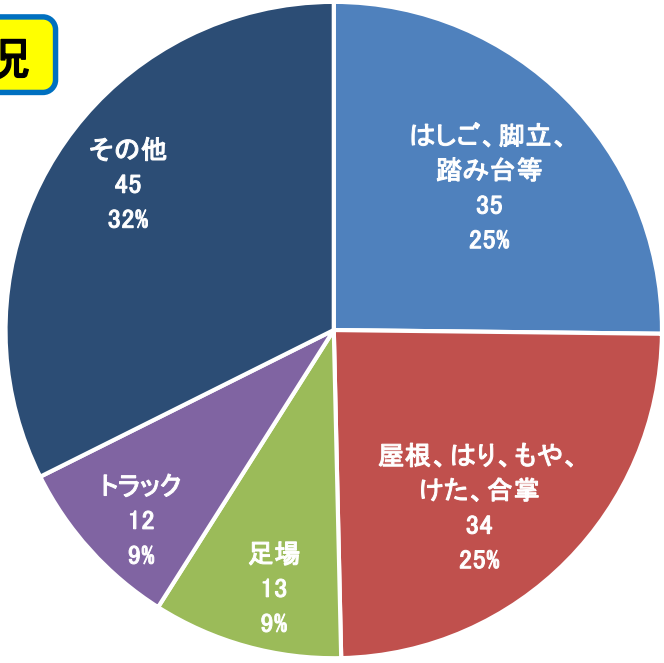
墜落・転落が毎年最多(過去4年で139人被災)



墜落・転落災害の起因物別発生状況

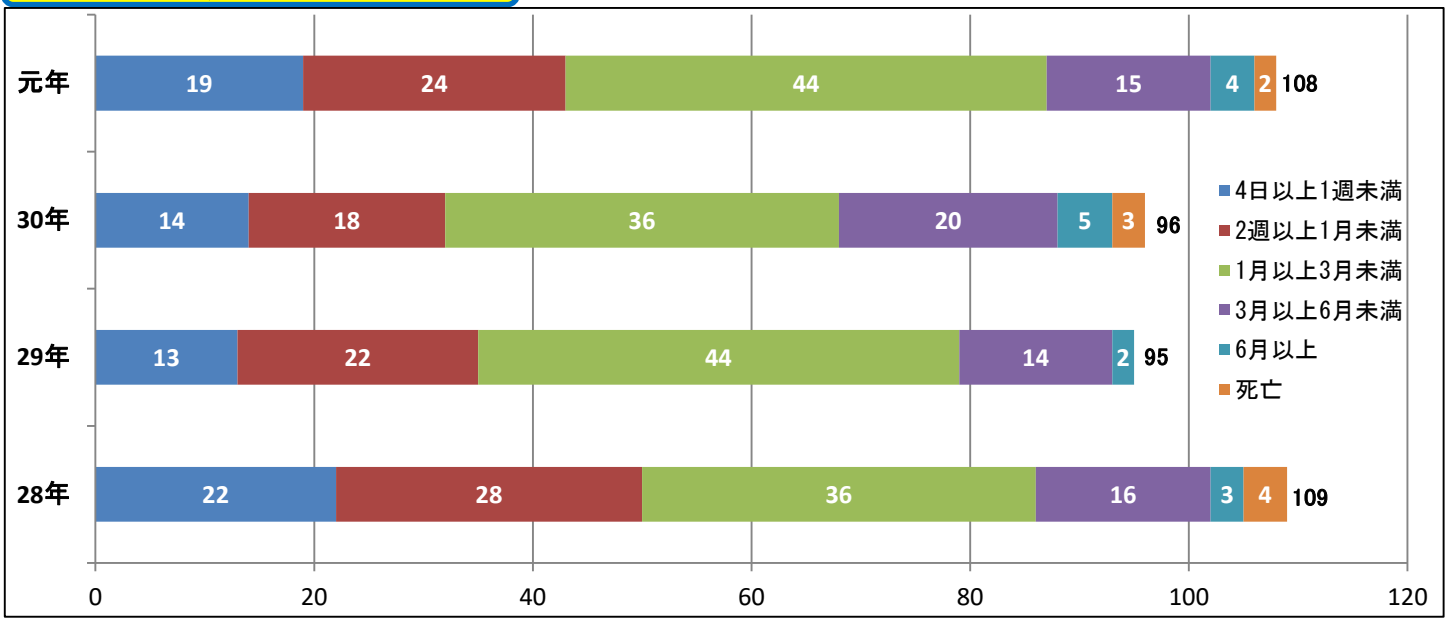
過去4年の「墜落・転落」災害139件の起因物は「はしご、脚立、踏み台等」、「屋根、はり、もや、けた、合掌」、「足場」の上位3つで82件と半数以上をしめています。

- 「はしご、脚立、踏み台等」については、本来、固定するなど転位しないよう措置し、必要に応じて安全ブロック等を連結して使用しましょう。
- 「屋根、はり、もや、けた、合掌」、「足場」では墜落制止用器具の未着用や、着用していてもそれが使用できない状態での作業により墜落・転落災害に至る事例が多く発生しています。親綱等の墜落制止用器具取付設備を設置し墜落制止用器具を使用しましょう。



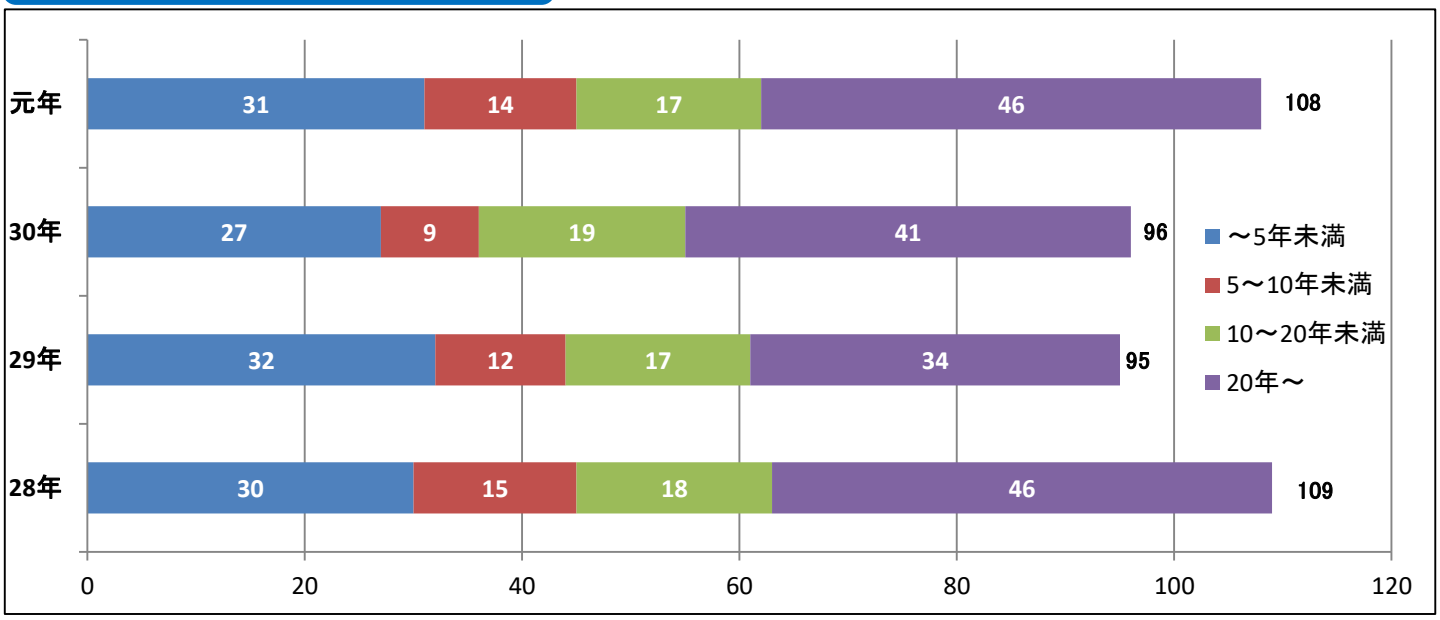
休業日数別発生状況

1月以上の休業日数が増加傾向



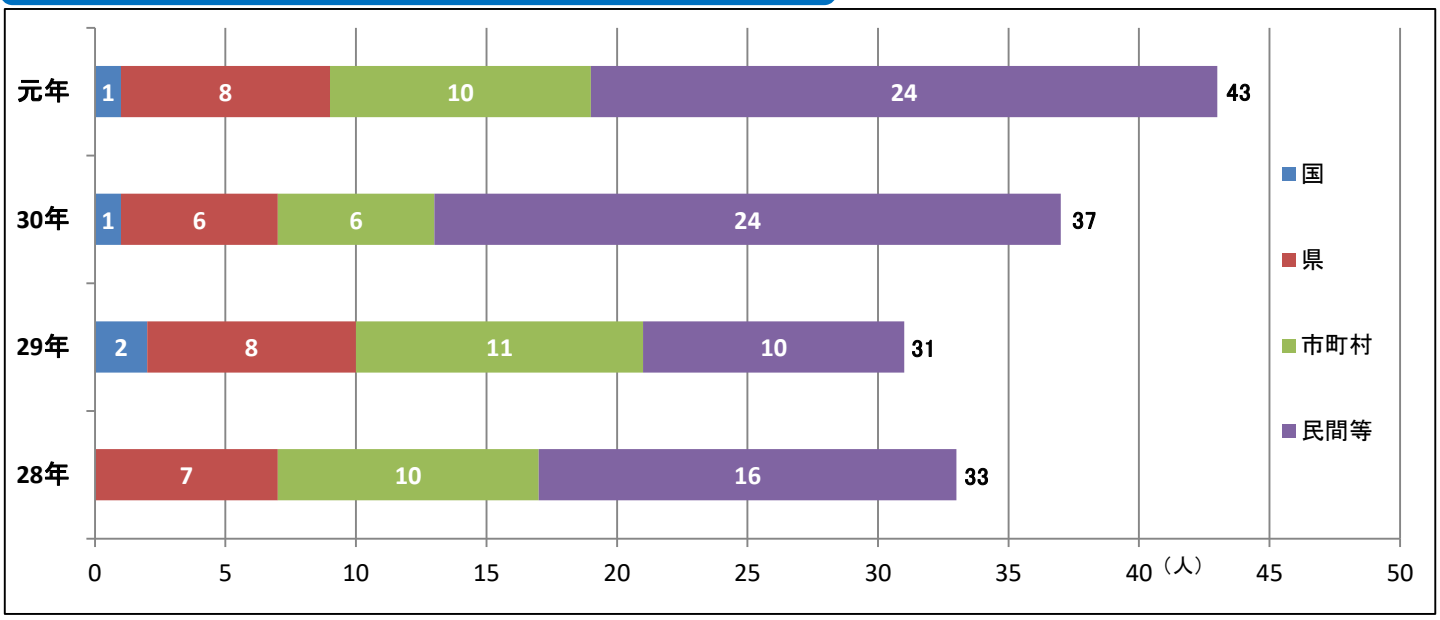
経験年数別発生状況

経験年数5年未満と20年以上での発生割合が多い



発注機関別発生状況（土木工事業）

公共工事以外の現場で増加傾向



建設業の死亡災害一覧（平成25年～令和元年）

労働災害による死亡者は平成30年より1人減少し、2人となりました。
高所作業でのフルハーネス型墜落制止用器具の適正使用等の墜落防止対策、車両系建設機械の転落防止対策の徹底をお願いします。

№	発生年月	元請下請	発　生　状　況
1	平成25年1月	元請	チェーンソーを使用して立木の伐倒作業に従事していたが、木の切株付近に倒れているところを、一緒に現場へ入場していた同僚労働者に発見された。
2	平成25年6月	元請	会社資材置き場において、ロープで結束した塩ビ製パイプをドラグショベルで吊上げて運搬作業を行っていたところ、ドラグショベルの履帯が溝に落ちて横転し、運搬の補助作業を行っていた被災者がその下敷きになった。
3	平成25年7月	元請	被災者がハンドガイド式ローラーを運転して移動中、後進してきたダンプトラックに背後から激突され、転倒した際にダンプトラックの左後輪に轢かれた。
4	平成25年7月	下請	集じん装置の外壁修理作業において、被災者が足場を溶接棒の入ったペール缶と溶接機の電源コードを持って移動中、躯体と足場板の間の26ｃｍの隙間から約24m下の地面に墜落した。
5	平成26年1月	元請	被災者らは、山中で試験作業を行っていたが、装備が不足していたため、作業を中断して下山することにした。先に下山した作業員らは、被災者が下山して来ないため捜索したところ、山道から法面下方約10mの立木に、意識不明の被災者が引っかかっているところを発見した。
6	平成26年5月	元請	木造家屋改修工事において、瓦を葺く作業のため1階屋根上を走行中、3.61m下の地面に墜落した。
7	平成26年5月	下請	変電所の設備の点検を行うため、点検範囲の停電措置を取ったが、被災者は活線区域の両端に「危険」表示を設置の上、母線の取付け部分のがいしをウエスで拭こうとしたところ感電した。
8	平成26年6月	下請	新築建物躯体の3階において、足場から木製型枠の解体作業を行っていたが、同僚が様子を見に行ったところ、足場から2.5m下の床面に意識不明の状態で倒れている被災者を発見した。
9	平成28年2月	元請	高さ20mの送電線鉄塔（特別高圧）の部品交換を行う調査のため、地上18mの地点で停電回線にアースの取付作業を行っていたところ、感電した。
10	平成28年3月	元請	木造建築現場の2階庇部分の母屋上において、垂木の固定作業を行っていたところ、6m下の土間コンクリートに墜落した。
11	平成28年10月	元請	建設工事現場内において、伐木の枝切り作業中、後退してきた車両系木材伐出機械に轢かれた。
12	平成28年10月	元請	法面維持工事現場内において、法枠の雑木除去作業中、高さ約8m下の地面へ墜落した。
13	平成30年4月	元請	屋根補修工事の作業中、屋根から道路上に墜落した。
14	平成30年7月	元請	砂防工事現場にてホッパーを吊っていたドラグ・ショベルが横転し、当該ドラグ・ショベルのバケットとえん堤に挟まれた。
15	平成30年9月	元請	トラックを運転して事務所から作業現場へ向かうべく道路を走行中、対向車線にはみ出し、大型トラックと正面衝突し、全身を強く打った。
16	平成31年1月	下請	工事現場の駐車場において、被災者の乗っていた車両が炎上した。
17	令和元年11月	下請	つり足場において作業を行っていたところ、作業床の端から川に墜落し、溺死した。

厚生労働省　島根労働局トップページのＱＲコード

厚生労働省　島根労働局ホームページ上にある　「安全・衛生」のバナーから事業場における安全衛生活動に必要な情報が取得できるようになっています。